



2026

〈特集1〉

平成18年7月豪雨災害から20年

平成18年7月豪雨災害
の概要

7月15日(土)

梅雨前線が、中国・北陸・中部地方に停滞。断続的な豪雨をもたらす。

7月17日(月)～19日(水)

さらに大雨が降り続き、観測史上最大値の総雨量400ミリを記録。

7月19日(水)

未明から、すさまじい雨。市内各所で土砂崩落や河川溢水が発生。湊の一小田井沢川と橋原の「志平川」で死者8名。市民の生命、財産に甚大な被害がおよぶ。

避難勧告を9区に、避難指示を2区に発令。避難所は小中学校、公民館など13か所に開設。

小田井沢川砂防えん堤 (湊 花岡区)

「災害に強い安全で安心なまちをめざして」

平成18年7月、活発化した梅雨前線の停滞により、非常に強い雨が降り続けました。そして19日、市内各所で土砂災害が発生。大規模な土石流が起き、尊い命が奪われるとともに、家屋の流失や倒壊、浸水など、市民の生命や財産に甚大な被害を及ぼしました。家屋の損壊、田畑や道路の埋没も激しく、膨大な土砂の撤去に始まった真夏の復旧作業は、たいへんな試練でした。しかし、助け合いから深まった地域の絆、被災の経験から得た教訓や知識は、災害に強いまちづくりへの糧ともなりました。

豪雨、台風、地震…大規模災害は、全国各地で毎年のように発生しています。あの日の記憶を風化させず、後世へ語り継ぐことは私たちの使命であると強く感じています。一人ひとりが高い防災意識を持ち続け、日頃からの備えと訓練により、災害に強い安全で安心なまちを共に築いていきましょう。



平成18年7月豪雨災害
記録誌
「忘れまじ豪雨災害」



被災からこれまでの取り組み

市では、またいつ起こるかわからない災害に備えて、市民のみなさんが安全で安心な生活を送ることができるよう、ソフト・ハード両面において、防災・減災対策や伝承事業を進めてきました。

ソフト面

① 「岡谷市防災の日」制定及び関連事業

災害から5年目を迎えた平成23年に、災害が起きた7月19日を「岡谷市防災の日」として制定。関連事業として、災害パネル展や防災関連図書コーナーの開催、災害伝承之碑参拝、出前講座等を実施。

② 「岡谷市防災・減災基本条例」制定

災害から10年目を節目として、「自助」、「互助」、「共助」、「公助」の考え方を基本とした「岡谷市防災・減災基本条例」を制定。

③ 地域との連絡体制強化

災害発生時に、災害対策本部と各区との情報共有をより円滑に行う必要性から、各区に市職員を派遣する「地域連絡員」の出動態勢を整備。

④ 自主防災組織連絡協議会の立ち上げ

21区の自主防災組織のつながりを強化するため、連絡協議会を組織。

⑤ 土砂災害防災訓練の実施

土砂災害防止月間の一環として、土砂災害に対する避難体制の強化、防災・減災意識の向上を図るため、市民と連携し実践的な訓練を実施。その他、地震を想定した防災訓練や出水期を前に行う水防訓練などを継続して実施。

⑥ 防災講演会の実施

市民等の防災意識向上のため、平成18年7月豪雨災害から10年や20年の節目となる年などに様々な講演会を実施。

⑦ 豪雨災害関連の砂防えん堤の完成

実際に被害が発生した地域を中心に砂防えん堤を整備(40基)。整備後の大雨の際、砂防えん堤は、流木や土砂を捕捉し流域への被害を抑制。その他、河川の改修、調節池の築造、下水道の雨水渠整備等も実施。

⑧ 防災行政無線の強化

高性能スピーカーの導入、屋外スピーカーの増設及び音声合成システムの導入により、防災行政無線をより聞こえやすくなるように更新。

⑨ 情報伝達手段の強化

岡谷市LINE公式アカウント、メール配信@おかや、緊急速報メール、防災行政無線テレホンサービス、戸別受信機等を整備。

⑩ 防災気象情報システムの強化

雨量観測装置(温度計、風向風速計、積雪計を追加)及び河川監視カメラを更新し、防災気象情報サイトをリニューアル。



長野県総合防災訓練



災害伝承之碑



高性能スピーカー

ハード面

土砂災害防災訓練を実施します

6月は「土砂災害防止月間」です。土砂災害はいつどこで発生するかわからず、一度発生すると大きな災害につながります。これに備え、大雨による土砂災害を想定した情報伝達訓練と避難訓練を実施します。

日時： 6月14日(日) 午前7時30分～10時頃(予定)

訓練対象地区： 今井区(会場：今井区公会所ほか)

訓練参加機関： 今井区、岡谷市消防団(第1分団)、岡谷警察署、岡谷市など

訓練内容： 現地対策本部設置訓練、避難誘導訓練、避難所の開設・運営訓練、土のう作成・土のう積み訓練など

※当日午前8時15分頃から防災行政無線(防災ラジオ、岡谷市LINE公式アカウント、メール配信@おかや等を含む)の放送があります。

ご家庭での備えはできていますか？

災害発生時、すぐに支援物資が届くとは限りません。災害発生から3日間(72時間)は人命救助が最優先になります。在宅避難に備え、初めの3日間(72時間)を自力で乗り越えられるよう準備しましょう。

食料や生活用品、衛生用品など災害時においても必要なものは、普段から少し多めに購入し、使った分だけ新しく買い足す方法(ローリングストック)で備蓄をしましょう。(推奨は1週間)



ローリングストックのイメージ

市民のみなさんに

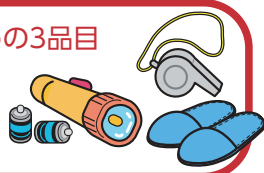
備蓄 してほしいもの

持ち出し品リスト

最低限 準備しておくもの

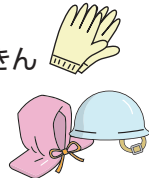
■命を守るための3品目

- 懐中電灯
- ホイッスル
- 靴(スリッパ)



■防災用品

- ヘルメット・防災ずきん
- 持ち出しリュック
- 携帯電話・充電器
- 軍手・手袋
- 携帯ラジオ
- 予備の電池・モバイルバッテリー



■お年寄りがいる場合

- 介護用品
- 処方薬
- 介護食



■女性用品

- 生理用品
- 化粧品
- ひざかけ
- 手鏡

■保存水・非常食

- 保存水
- 非常食



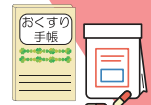
■貴重品

- 現金(紙幣・硬貨)
- 印鑑
- 預金通帳・証券類
- マイナンバーカード
- 身分証明書(コピー可)
- 資格確認書・免許証・障害者手帳



■救急用品

- 常備薬
- 絆創膏・包帯・傷薬
- おくすり手帳



■着替え・防寒着

- レインコート
- 上着・防寒着
- 下着・靴下



■衛生用品

- 携帯トイレ
- ティッシュペーパー



■乳幼児がいる場合

- 粉ミルク・液体ミルク
- 離乳食
- 哺乳瓶
- 携帯やかん・燃料
- 紙おむつ・おしりふき
- 抱っこひも
- 防寒用品
- 母子手帳



■ペットがいる場合

- 飲料水・食料
- 食器
- ケージ
- リード
- 常備薬
- ペットシート
- 鑑札・狂犬病予防注射票(犬の場合)

その他 準備しておくといいもの

■防災用品

- ロープ
- レジャーシート
- ナイフ・缶切り
- マッチ・ライター
- ローソク

■日用品

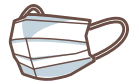
- ラップ
- 布ガムテープ
- 携帯カイロ
- ビニール袋・ポリ袋
- 筆記用具・メモ帳



■衛生用品

- 毛抜き・綿棒・爪切り
- 除菌シート
- タオル
- 石鹸
- 歯ブラシ・コップ

- マスク
- 体温計
- トイレットペーパー
- ウエットティッシュ



重要なお知らせ

令和9年3月末で、防災ラジオは
防災行政無線の受信ができなくなります！
(通常のラジオとしては使用できます)





2026

〈特集3〉

新たな防災気象情報の運用開始

気象庁は令和8年5月29日から、新たな防災気象情報の運用を開始

これまで、河川氾濫、大雨、土砂災害に関する情報等は、警戒レベルとの対応が複雑でわかりにくくなっていましたが、今回の改善により避難情報の5段階の警戒レベルに対応するようになるため、避難の判断がしやすくなります。

避難のタイミングは レベルで判断

時間推移のイメージ

災害発生

2時間～0時間前

数時間～3時間前

半日～数時間前

数日～1日前

	河川氾濫	大雨	土砂災害
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報
	<ul style="list-style-type: none"> すでに安全な避難ができず、命が危険な状況 今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する 		
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報
	<ul style="list-style-type: none"> 危険な場所から全員避難する <small>※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了</small>		
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報
	<ul style="list-style-type: none"> 避難に時間がかかる高齢者等は危険な場所から避難する 高齢者等以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難 		
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報
	<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップ等で災害リスクを再確認する 自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する 		
警戒レベル1	早期注意情報		
	<ul style="list-style-type: none"> 災害への心構えを一段高める 		



1
ポイント

警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

発表される警報・注意報の名称にレベルが付記されます。避難行動と直結するレベルがすぐわかり、避難判断の目安が明確になります。



2
ポイント

「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。



3
ポイント

河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります(特別警報の新設など)

従来の「洪水警報」「洪水注意報」は廃止されます。今後は河川の区分に応じ伝え方が変わります。



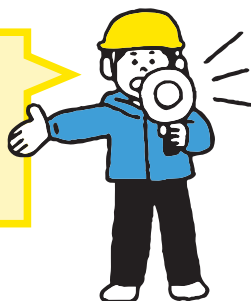
4
チェック

線状降水帯の発生などは「気象防災速報」として発表します

極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表します。

出典：気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>
気象庁「防災気象情報を活用する組織向けのご案内」チラシを加工して作成

岡谷市から避難情報が発令された際には速やかに避難行動をとりましょう。また、避難情報が発令されていなくても、**警戒レベル4**や**警戒レベル3**に相当する防災気象情報が発表された際には、キックルや河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をしてください。



自ら防災情報を収集・活用し、避難行動に備えましょう!

防災情報収集方法



防災行政無線

市内49か所の屋外スピーカーを介して、防災情報や行政情報を伝えるシステムです。また、定時放送として、正午と夕方にチャイムを放送しています。



岡谷市LINE公式アカウント

スマホやタブレットなどで取得できます。QRコードを読み込み、「追加」ボタンを押して登録。

友だち追加はこちらから!



岡谷市公式 Facebook

スマホやタブレットなどで取得できます。QRコードを読み込み、「フォロー」ボタンを押して登録。



緊急速報メール

岡谷市内に滞在する携帯電話をお持ちの方に、緊急性の高い防災、避難情報などが専用の警告音とともに一斉に配信されます。(NTTドコモでは「エリアメール」)



メール配信@おかや

- ①QRコードを読み込んで登録。
- ②下記アドレスに空メールを送信
返信されたメールに従い登録。 t-okaya@sg-p.jp



岡谷市ホームページ

防災行政無線の放送内容をトップページやバックナンバーで確認できます。



防災行政無線テレホンサービス

防災行政無線の放送を聞き逃した、または聞き取れなかった場合、以下の電話番号に電話すると放送内容が確認できるサービスです。事前登録不要(通話料がかかります) **0266-24-2050**



広報車巡回広報

緊急性の高い防災、避難情報などを周知する際、状況に応じて市または消防団などの広報車による巡回広報を行います。



Yahoo! 防災速報連携

無料アプリ「Yahoo! 防災速報」、「Yahoo! JAPAN」アプリをインストールすると緊急性の高い防災、避難情報などが配信されます。

携帯電話(スマホ・ガラケー)を持っていない世帯へのサービス



防災情報架電サービス

自宅の固定電話に緊急性の高い防災、避難情報などが自動音声でかかってきます。(通話料無料)

- 事前申請が必要になります。



戸別受信機

防災行政無線と同様の内容が流れます。(無償貸与)

- 事前申請が必要になります。
- 避難行動要支援者登録制度(在宅)の登録者がいる世帯が対象です。



問合せ:危機管理室(内線1591)

・LINE、LINEのロゴ、Yahoo! JAPAN、Yahoo!のロゴは、LINEヤフー株式会社の登録商標または商標です。
 ・Facebook、Facebookロゴは、Meta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。
 ・NTTドコモ、エリアメールは、株式会社NTTドコモの登録商標です。